

環境省環境再生・資源循環局リサイクル推進室から、平成 30 年度第 2 次補正予算案及び平成 31 年度当初予算案が閣議決定されましたので、プラスチックのリサイクル及び代替素材への転換に関する予算についてのお知らせと、環境省で実施しております「プラスチック・スマート」キャンペーンへのお知らせがありました。

●省 CO2 型リサイクル等高度化設備導入促進事業（93.3 億円）

中国をはじめアジアに広がる廃プラスチックの輸入規制により、国内で処理せざるを得なくなった廃プラスチックの国内循環を促進するため、昨年度と今年度、本事業によりプラスチックのリサイクル設備の導入に 2 分の 1 を補助する事業を実施してまいりました。この度、本事業が今年度第 2 次補正予算案及び来年度当初予算案合わせて 93.3 億円（今年度 15 億円から約 6 倍）で計上されましたので、国会で可決されることが前提となりますが、来年度も引き続き実施する見込みです。

一部は今年度の補正予算案となるため、年度内、おそらく 2～3 月頃に公募を開始する見込みです。今年度同様にプラスチックのリサイクルに資する設備が幅広く対象となる見込みで、補助額についても今年度同様、2 分の 1 を基本に考えています。

補助金の執行団体や公募要件等の詳細については、決まり次第公表しますが、是非積極的な活用をご検討いただくようお願い致します。

（参考）今年度事業の公募関係書類、結果等に関する情報

https://www.jwrf.or.jp/subsidiary/save_co2/current/index.html

●脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業（35 億円）

来年度の新規予算として、①代替素材である紙・バイオプラスチックへの転換・社会実装化支援、②複合素材プラスチックなどのリサイクル困難素材のリサイクル技術・設備導入支援として、それぞれの技術実証事業に 35 億円を計上します。①の実証は委託・補助（1/2～1/3）の両スキームから選択可能であり、②の実証は補助（1/2～1/3）となります。

公募時期は委託は 3 月頃、補助は 4 月頃を見込んでおります。

●「プラスチック・スマート」キャンペーン

環境省では、世界的な海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて、国民的機運の醸成を目的として、「プラスチック・スマート」キャンペーンを 10 月に立ち上げたところです。本キャンペーンでは、キャンペーンサイト<<http://plastics-smart.env.go.jp/>>にて、企業、NGO、自治体等から、プラスチックの 3 R や、紙・バイオプラスチックなど代替素材の利用、散乱ごみ・海岸漂着物の回収などの取組を募集し、各企業・団体の取組をサイトで発信しています。

募集は随時行っていますので、趣旨に賛同いただける場合は是非こちら<<http://plastics-smart.env.go.jp/about/seeking>>に記載している応募方法をご覧ください、登録をお願い致します。